

# 世界のテレビ番組国際見本市

資料3

名称	MIPTV (Marche Internationale des Programmes Television)	MIPCOM (Marche Internationale des Programmes Communication)	NATPE (National Association of Television Program Executives)	China International Film and TV Programs Exhibition (China Radio Film & Television International Exposition)
公式サイト	<a href="http://www.miptv.com">www.miptv.com</a>	<a href="http://www.mipcom.com">www.mipcom.com</a>	<a href="http://www.natpe.org">www.natpe.org</a>	<a href="http://www.chnpec.com/">www.chnpec.com/</a>
開始年	1964年(85年から4月、10月の2回開催)	1964年(85年から4月、10月の2回開催)	1962年発足	2003年
開催日程	毎年4月	毎年10月	毎年1月	
開催地	フランス カヌヌ国際会議場	フランス カヌヌ国際会議場	米国 Las Vegas	中国 北京
主催	ReadMidem(フランス・リード・ミデム社)	ReadMidem(フランス・リード・ミデム社)	NATPE(全米テレビ番組製作者連盟)	中国政府(ラジオ・映画・テレビ総局)と中国メディアグループとの共同開催による。
政府機関の関与	-	-	-	中国政府(ラジオ・映画・テレビ総局)が共催
取り扱うコンテンツ	映画、テレビ番組、アニメーション	映画、テレビ番組、アニメーション	テレビ番組、アニメーション	映画、テレビ番組
概要	毎年4月「カンヌ映画祭」と同時期に行われるテレビ番組の見本市。2006年からはブロードバンド用コンテンツやモバイルコンテンツなどのデジタル映像コンテンツが取扱われるようになった。世界各国の大きな放送局のほか、テレビ放送権を販売する映画配給会社も参加する世界的に注目されるテレビ業界の見本市。	ケーブルテレビ・衛星放送など、幅広いコンテンツ分野を対象とした、毎年10月に開催されるテレビ番組の見本市。90カ国近くの国から放送局や、制作会社、テレビ放送権を販売する映画配給会社が参加する。毎年日本からもNHKやキー局などの放送局、大手制作会社が参加し、放映権、協同制作権など、さまざまな権利の売買が行われる。	毎年1月に開催されるテレビ番組専門の見本市。世界各国から放送局、制作会社、テレビ放送権を売買する映画配給会社などが参加する。テレビ番組専門の見本市としては世界最大級となっており、さまざまなカンファレンスが開かれるほか、テレビ番組制作に対し意欲的な姿勢や創造性を示した団体に贈られるアワードが設けられている。	2003年から毎年北京で開催されている映画、テレビ、ラジオ番組の見本市。国際的な映画とテレビ、ラジオ番組の展示会、技術展示、フォーラム、および表彰式を開催。
参加者数	13,311人(2007年 06年:12,249人)	13,371人(2007年 06年:12,509人)	7,515人 / プレス参加者476人(2006年)	-
バイヤー	3,816人(2007年 06年:3,603人)	4,242人(2007年 06年:3,847人)	1,500人(2006年)	-
出展企業	4,532社(2007年 06年:4,201社) (06:104カ国:うち日本企業114社)	4,585社(2007年 06年:4,216社) (06:98カ国:うち日本企業36社)	365社(2006年)	721社(2006年)
取引額	約40億ユーロ	約40億ユーロ		936,000,000元(140億円)

資料:各イベント主催者公式サイト及び「日本と世界のコンテンツ市場データベース2007(HUMANMEDIA)」より三菱総合研究所作成

名称	Shanghai International Film Festival	Shanghai TV Festival	Hong Kong International Film and TV Market	Asia Television Forum (ATF)/Asia Film Market & Conference (AFMC)/Asia Animation Conference (AAN)	BCWW (Broadcast Worldwide)
公式サイト	<a href="http://www.siff.com">www.siff.com</a>	<a href="http://www.stvf.com">www.stvf.com</a>	<a href="http://www.hkfilmart.com">www.hkfilmart.com</a>	<a href="http://www.asiatvforum.com">www.asiatvforum.com</a>	<a href="http://www.bcww.net/">www.bcww.net/</a>
開始年	1993年(第1回から第5回までは隔年。第4回までは10月開催。2007年で10回目)	1986年	1996年	-	2001年
開催日程	毎年6月	毎年6~7月	毎年3月	毎年12月	毎年8月~11月(近年8月・9月)
開催地	中国 上海	中国 上海	中国 香港	シンガポール	韓国 ソウル、釜山
主催	1993年、中国政府と上海メディア&エンタテインメントグループ(SMEG)共催により開催。上海市文化广播影视管理局が共同運営。	1986年よりラジオ、フィルム、テレビ管理局や上海自治政府などにより1年に一度6~7月の間に開催。	香港貿易発展局(Hong Kong Trade Development Council: 香港の対外貿易促進を目的に1966年に設立された準政府機関。世界40以上の都市と中国本土12都市に事務所を開設。香港の企業やサービスを利用したビジネスや、中国・アジアへのビジネスの拠点としての香港活用を支援)	Reed Exhibitions社(シンガポール)	(主催)韓国文化観光部、韓国放送委員会 (主管)国際放送交流財団、韓国放送産業振興院
政府機関の関与	中国政府(ラジオ・映画・テレビ総局)が共催、上海自治政府が共同運営。	中国政府(ラジオ・映画・テレビ総局)、上海自治政府、上海市文化广播影视管理による共催。	香港貿易発展局の全収入(19億香港ドル:約280億円)のうち約17%(3.5億香港ドル)が政府援助(残りは展示会収入等)	メディア開発庁から予算補助。	韓国政府が主催。
取り扱うコンテンツ	映画	映画、テレビ番組	映画、テレビ番組	映画、テレビ番組、アニメーション	テレビ番組、ドキュメンタリー、アニメーション、映画、キャラクター等
概要	国際映画製作者連盟(FIAPF)公認の長編映画祭(Competitive feature film festival)。2006年までに、60以上の国と地域から4569の番組を扱い、1210が実際に上映されている。	マーケット部門と、優れたコンテンツを制作した会社に贈られる“マグノリア”というアワードを与えるフェスティバルの2部門に分かれており、映画とテレビ番組両方を取扱っている。アジアのなかで歴史を持つ大きな展示会として、認知されており、フィルムマーケットとしても注目を集めている。	2006年で第10回を迎えたマーケット。毎年一度、香港映画祭が始まる直前3~4月に行われ、アジアを中心に世界各国から映画関係者が集まる。映画を中心に、テレビなど、映像コンテンツ全般を取扱っており、マーケットのほかセミナーや各種イベントなども行われる。	Asia Television Forum (ATF)はアジアを代表する国際的なテレビ番組見本市。Asia Film Market & Conference (AFMC)およびAsia Animation Conference (AAN)が同時開催され、アジアを中心とした番組関係者の情報交換の場となっている。	2001年に民間資本主催でスタートしたが、2002年から政府主催となる(現在は文化観光部と放送委員会の共催)。また、スポンサーとして韓国放送広告公社およびDaum(ポータル事業者)が参加している。
参加者数	170,000人(2006年)	-	-	-	5,000人(38カ国)(2007年)
バイヤー	-	-	4094人(50ヶ国)(2007年)	49ヶ国(2006年)	1500人(2007年)
出展企業	359社(46ヶ国)(2006年)	205社(40ヶ国)	453(30ヶ国)(うちアジア218社)(2007年)	121社(2006年)	158社(2007年)
取引額	-	-	-	4700万USD(2006年)(前年比147%)	全体契約実績:1700万ドル(2006年)